

想いを届けるためにボランティアバスを運行しました

当会では7月5日からの福岡・大分を中心とした豪雨災害による被災地支援として、7月22日から8月12日まで計7回朝倉市災害ボランティアセンターへボランティアバスを運行しました。

行きの車内で活動にあたっての注意事項等を説明し、団体受付窓口である杷木サテライトで受付等を済ませたあと、そこから依頼者宅付近までバスで乗り入れたり、徒歩で向かったりしました。活動内容は主に泥だし、家財等の搬出、家屋の片付け等といった、被災のあった状態から一日でも早く元の生活に戻すための支援活動でした。

支援活動経験者もいれば、初めて参加する方もいる中で、活動中はみんなで声を掛け合い、熱中症を防ぐためにも休憩をこまめに取りながら作業を進めていきました。

活動後に行ったアンケートからは、「自分で運転しなくて良かったため活動に集中できた」、「現地に行って自分の目で見ないと分からないことが多くあった」、「助け合うことが大事だと改めて実感した」、「微力でも被災地のお役に立てたのなら良かった」等との声がありました。

募集期間が短かったにも関わらず、多くの市民の方からのお問合せや参加があり、感謝申し上げます。



被災地支援に行かれる前に知っておいていただきたいこと

近年、日本各地で台風、豪雨等による風水害や地震、津波等の災害が発生しており、災害ボランティアセンターが設置・運営された際には、被災地では災害ボランティアによる支援活動が大きな力を発揮し、被災地に欠かせない重要な支援になっています。

テレビや新聞などで被災して困っている人のことを知りボランティアとして参加したいと思われた時、ぜひ被災地の負担にならないように事前の計画・準備をして被災地支援に行きましょう。

① ボランティア活動保険へのご加入を!

ボランティア活動中のケガや事故など、「いざ!」というときのための保険です。最寄りの市・区社協ボランティア・市民活動センター窓口へお越しいただき加入の手続きをしてください。



② 自己完結が基本です!

現地までの交通手段、宿泊場所をはじめ装備や飲食物も各自で手配・準備してください。また、年に1回被災地支援に関する講座も行っています。今年度の講座は終了してしまいましたが、当センターが行う講座以外にも地域や他団体が行っていることもありますので参加を検討されてみてください。

Check!

災害ボランティアの想いを被災地に!

シリーズ福祉エッセイ「しあわせづくり、ひとづくり」⑳

北九州市の災害ボランティアと地域防災への取り組み

平成29年7月九州北部豪雨では、活発な梅雨前線の影響で、福岡県から大分県にかけて観測史上最も多い記録的な雨量を観測し、県内では朝倉市、東峰村を中心に甚大な被害が発生しました。本市においても7月7日の豪雨により多くの被害が発生しました。人的被害は無かったものの、あと数時間同様の雨が続いていれば、朝倉市のような被害が発生してもおかしくない状況でした。

こうした中、朝倉市などの被災地には多くの方がボランティアとして駆けつけ、厳しい暑さの中、被災者に寄り添い復旧・復興に取り組まれています。

東日本大震災や熊本地震でも、ボランティア活動に関する注目度は高く、若い世代から高齢世代まで被災地において様々な支援活動に携われ、その重要性が強く認識されております。

北九州市社会福祉協議会では、平常時には災害ボランティアの養成等に取り組まれ、災害時には災害ボランティアセンターの設置・運営にあたられます。また、災害に備えて本市としても、企業やNPO、地域の市民団体などと連携しながら、ボランティア活動の支援ネットワークづくりに取り組んでいます。



北九州市 危機管理監

原口 紳一 さん

災害時には、こうしたボランティア活動とともに、地域の皆さんによる「共助」が力を発揮します。本市では地域防災力の強化を目指して、「みんなde Bousaiまちづくり推進事業」に取り組んでいます。小学校区単位で、「自然災害による犠牲者ゼロの校区」を目標に、地域の皆さんが主体となって会議や訓練を開催し、各校区オリジナルの「地区防災計画」を策定します。「防災」は地域住民全員に共通するテーマですので、様々な方に会議に参加していただき、それぞれの視点から考えていただいています。

近年、災害の激甚化や多発化が指摘されており、特に高齢化が進む本市では、高齢者や障害者などの災害時に支援が必要な方の把握や安全な避難は大きな課題ですが、この対策としても、地域福祉の視点から防災を考えることが非常に重要となります。

北九州市社会福祉協議会や地域の様々な団体と連携して、日頃の地域づくりや、災害ボランティアの育成などにしっかりと取り組み、「災害に強い北九州市」づくりを進めてまいります。

災害時に備えた各種講座のご案内

私にもできる 災害ボランティア入門講座

各地で災害が頻発していますが、その復旧活動等において、大きな力となり、活躍しているのが災害ボランティアです。災害時の基礎知識や適切な対処活動に活かすことを目的とし、身近なところで災害が起きた時の役割・備え・心構えについて学び、地域で協力し支え合うことについて考えます。この講座では、まず、さまざまな災害ボランティア活動をご紹介します。そして、その中から「私にもできる活動」を見つけてもらい、いざという時の活躍の準備をお手伝いします。

災害ボランティア・ フォローアップ研修

災害時には、ボランティアが重要な役割を果たすとともに、被災地災害ボランティアセンターの設置により、円滑なボランティア活動が果たせるようになりました。この研修では、最新の災害ボランティア活動状況等を学ぶとともに、災害ボランティアセンターの機能等を再確認する中で、ボランティアとしての資質向上を図ります。また学びの場を通じて、活動へのモチベーションを高め、災害時に備えます。

災害ボランティアセンター 設置・運営訓練

市内外から駆け付けける災害ボランティアを被災地の支援・復興の力とするためには、普段から多様なボランティアを受け入れる環境づくりに努め、災害救援の知識を深めることが必要です。この研修では、災害ボランティアセンターの設置に至る手順から、機能や運営スタッフの役割等を学び、災害時に、地域住民としてどのような支援活動に関わって行くことができるかについて理解を深めます。